

地域説明会 意見・質問 概要

月日	区分	意見・質問	回答
5/29	質問	計画には基本的に賛成。 20年となるとここに在る方も当事者にならない。児童生徒数は令和11年にピークを迎えるが一番のピークからは7割も減少する。審議会の議事録をみても中学校が喫緊の課題である。スピードを早められないか。 予算の都合や小学校をほっとけない事情もあると思うが。 中学校を再編するまでに、更新時期が来ると予算が無駄にならないか。	小中学校の適正配置・再編は様々な影響がある取組です。 子供たちの通学面等、綿密に考えていく必要があります。 また、学校は地域の避難所でもあるので子供たちだけではなく、地域にとっても大切な施設です。 将来的なビジョンを示しながら計画的な取組を行い、見直しが必要なところは見直しをしていきます。
5/29	質問	取組には賛成。スピード感を早めてほしい。昨年子供が生まれたが、この計画に当てはめてみると、自分の子供に該当しないところが心配に感じた。 20年のプロジェクトの中で、異動・退職等で人員も変わると思うが、プロジェクトに無駄が出ないか。プロジェクトを維持する方法を聞きたい。	宮代町では、今年度須賀小の再整備を進めるため、役場内にプロジェクトチームを設置しました。 学校の再整備のほかに地域の中心施設としていくため、小学校だけではなく、地域の皆様が集まれる場所として公民館の再整備、地区のコミュニティセンターの整備、子育て支援の拠点として学童保育の整備も行い、多機能化を進める計画です。 また、取組を進めていく中で、令和9年度頃から計画の再検証を行う予定です。 これから5・6年のまちづくりを進める中で、その時々々の状況を皆さんにアナウンスをし、取組についてはマネジメントしていきたいと思っております。20年間の中でさまざまな再整備が動きますので、取組の状況が皆様に見えるようにしていきます。
5/29	質問	20年の中で笠原小と東小の再編、中学校の再編が検討されるとのことだが、首都圏に近い宮代町では土地の調達が一番大きな問題では？ 10年後、土地を求めるとき・買い占めの時期になると学校が建てられないのではないか。財政面からどうなのか聞きたい。 群馬県の甘楽町は中学校を1校に再編し、上手くいっている。 防災センター等もある。 甘楽町がどのように資金調達等をしたか、引き続き調査してほしい。	中学校の再編について、場所はまだ検討していません。 財政面では文部科学省の様々な資金は調べており、町の財政負担を減らしながら子供たちに最高の教育環境を提供していくように研究していきます。 甘楽町は中学校を3校から1校へ再編しており、審議会でも現地を調査しました。スクールバス等を活用していたり、通学路の電灯を増やし子供たちが安心して通学できるような整備も行ってました。 防災センター、給食の施設も併設し、体育館についても防災面で役立つようにしているとのこと。 おそらく防災関係の資金も活用しているのではと思いますので、しっかり研究していきたいと思っております。
5/29	質問	公共施設マネジメント計画の中で小学校が地域の中心施設となり、双方が発展していくことが面白いと感じた。具体的にお互いにどういうメリットがあるか。	公共施設マネジメント計画の中で、学校を地域の中心施設にしていく考え方が示されています。 学校に地域の人が入ると安全性はどうかとの問題もありますが、その点はしっかり管理していきます。 お互いへの実際のメリットとしては、コスト面からは様々な施設があることで一括で施設を管理できることもありますが、主な目的としては子供たち、地域の方々にとって、いい施設にすることだと思っております。 子供たちにとっては学びの場ですが、地域の方々から様々なことを教えていただいたり、地域の方々には学校に行けば子供たちの元気な声を聞くことができ、子供たちと触れ合うことができるなどが重要になると思っております。 これから検討していく中で、メリット等やどのようにして学校を地域の核としていくかなどを市民の皆様と検討し、計画に反映させていきたいと思っております。
5/29	質問	中学校を今後1校にする、その前に須賀小、百小を順次第1期で計画していくとの説明であった。今小人数学級が進められている中で、小学校を先に進めてそのあと中学校を進めるのでよいと思うが、小中一貫の施設を作る考えはないのか？ また、中学生をどうやって安全に通学させることができるか？ 今のICTや部活の環境を考えると、1校にする考えは概ね賛成だが学校の場所はどうか？ 学校を統合すると避難所が足りなくなるのでは？	審議会の中でも、小中一貫となる義務教育学校の検討はいたしました。 審議会の中ではいくつかのメリットはあるが学校規模が失われるデメリットを解消することは難しいとの意見でした。これから様々な事例が出てくると思っておりますので、研究していきたいと思っております。 通学の問題については、審議会でも大きな問題として出ており、スクールバス、電車等が考えられるとの意見が審議会ではありました。 中学校の場所は全く決まっていますので、今後検討していく必要がありますが、保護者の方、地域の方に通学面の理解を得られるように計画を立てていきます。 現在でも学校施設は防災面で中心的な役割を担っています。これからの新しい施設の構想を検討する中で、防災も考慮していきます。小学校については、3校を地域の防災拠点としていきますが、学校施設だけではなく、その他の公共施設につきましても防災の拠点を補完する役割としていきます。
5/29	質問・意見	3年前に宮代に戻ってきた。広報を見るまで適正配置を知らなかった。 今後宮代に来る人にも伝えた方がいいと思う。 平成23年に計画が始まってから、今までの人口を増やす努力、これからの取組・努力を聞きたい。	道佛地区の区画整理の結果、約2000人人口が増えています。 和戸・姫宮の駅前については区画整理の余地は場所としてあるとは思っていますが、国、県において、人口減少の社会の中で宮代町の区画整理を認めていない状況です。 町としては第5次総合計画の中で、駅前のポテンシャルについて、市街化調整区域の中で住宅整備ができないか、手法の検討しています。
5/29	質問	令和4年から須賀小の再整備とのことだが、どこか別の場所に新しく建て直すのか。 全部の学校で行うものすごくお金かかるのでは。 再整備について詳しく知りたい。	須賀小学校を別のところで、土地を買って建てることは考えていません。 再整備はいろいろな方法がありまして、これから中身を検討していきます。 お金の問題もありますので、国・県の財源を使いながら何が出来るかをこれから検討していきます。 有利な財源があれば思い切った改修もできますし、財源が厳しければできる範囲で整備を行います。 和戸公民館の再整備については、現在は避難所にはなっていますが、バリアフリー等が十分ではなく、職員もいないため貸館のようになっています。 第5次総合計画の中で地区のコミュニティセンターの機能を考えておりまして、地域の皆様の支援をしていきたいと思っております。 和戸公民館を学校施設の中に取り込み、職員も配置することも想定して地域コミュニティの活性化に取り組んでいきたいと思っております。
5/29	意見・質問	宮代町に20年前に引っ越してきた。 どこからでも通えることを魅力に感じていた。 今回 学校を自由に選択できる宮代の素敵な部分が失われるのではと思っていた。 循環バスも縮小されている。 防災の拠点や近いところに通うことも必要だが、それ以外を選択して、実際に通えることも必要。 空き家が多いのももったいなく感じている。 すでにある宮代の良さを有効に使うことも考えていただきたい。	学校の自由選択制については、小中学校の適正配置の中で変更することは検討していませんので、基本的には現状のままだと思います。宮代の教育の特色の一つでもあります。 自由選択制は平成15年から始まり、子供と保護者が学校を選択できること、学校が個性を出すことを狙っています。 一方で通う手段がなく、行きたい学校にいけない状況については、解決するのは難しい状況です。 保護者の方のご協力を得ながらこの制度を維持していきたいと思っております。 循環バス、空き家については町として課題として認識していますので、町としては対策を検討していきたいと思っております。
5/29	意見・質問	学校施設個別計画を情報公開コーナーでコピーして、読んだ。 これを知っている人はほとんどいないのでは。 行政は50年、100年でプランを立てて、地方自治体は国・県と協力して作り上げていくものだと思う。 町執行部だけではなく、議会で揉んでいただきたい。	個別施設計画は、学校施設の改修等の計画で、昨年度末に策定しています。 この計画を作ると、何かするときに国からの補助金等の根拠となりますので、トイレの改修等で使っていくようにしています。 小中学校の適正配置は進めて行く必要がありますが、日々の学校教育活動も最重要ですので改善できるところは改善し、両立しながら進めてまいります。